

2026年3月期（第99期）
第3四半期

決算説明資料



2026 NAMM Show

2026年2月12日

株式会社 河合楽器製作所



■ 2026年3月期 第3四半期 連結業績

- ✓ 楽器教育事業は中国での販売減少などにより減収となり、素材加工事業、その他事業は増収となったものの、連結合計では減収
- ✓ 利益面では、楽器教育事業は営業損失の計上となったが前期比では改善、連結合計では増益

■ 2026年3月期 通期 連結業績予想（下方修正）

- ✓ 楽器教育事業の楽器販売減、素材加工事業の受注減のため、通期の業績予想について売上高、営業利益、経常利益を下方修正
- ✓ 当期純利益は前回予想を据え置き

■ 株主還元

- ✓ 2026年3月期の配当は、1株当たり95円を維持
- ✓ 累進配当と総還元性向50%以上を継続する

2026年3月期第3四半期
連結業績

素材加工事業とその他事業は増収となったが楽器教育事業の減収により、売上高は減少
利益面では、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに増益

〔単位：億円〕

	2025年3月期 第3四半期実績	2026年3月期 第3四半期実績	前期差異	前期比
売上高	544.5	533.1	▲11.4	▲2.1%
営業利益 (営業利益率)	▲1.5 (▲0.3%)	0.0 (0.0%)	+1.6	—
経常利益 (経常利益率)	1.0 (0.2%)	8.0 (1.5%)	+6.9	+656.1%
四半期純利益 (四半期純利益率)	▲1.6 (▲0.3%)	4.5 (0.8%)	+6.2	—
為替レート				
US\$	151.3円	148.2円	▲3.1円	▲2.0%
EURO	164.4円	165.5円	+1.1円	+0.6%

※ 四半期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益です。

楽器教育は販売減少により減収となったが利益面では改善、素材加工事業は増収となったが減益、その他事業は増収増益

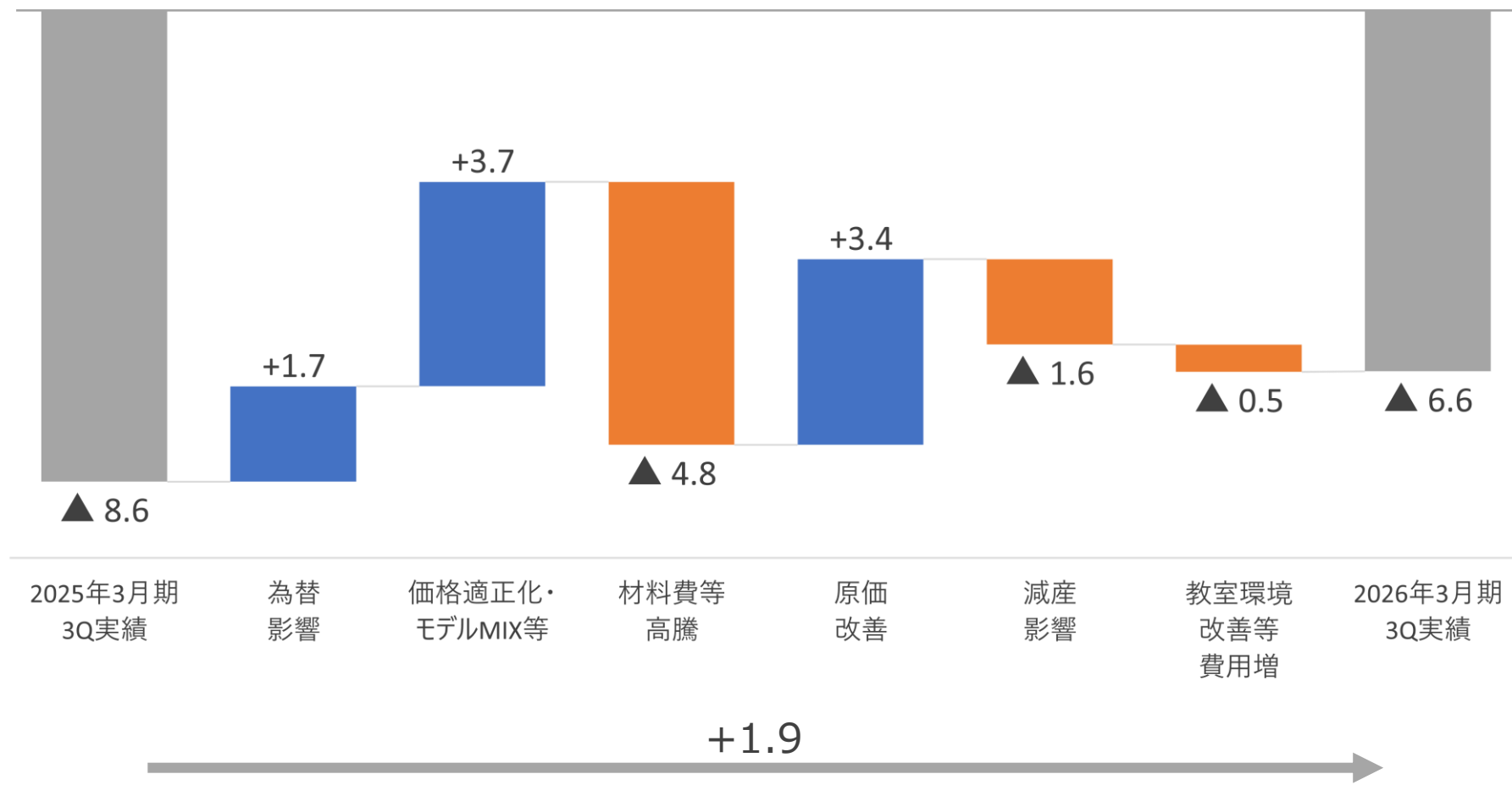
〔単位：億円〕

		2025年3月期 第3四半期実績	2026年3月期 第3四半期実績	前期差異	前期比
楽器教育	売上高	436.5	417.6	▲18.8	▲4.3%
	営業利益	▲8.6	▲6.6	+1.9	—
	(営業利益率)	(▲2.0%)	(▲1.6%)		
素材加工	売上高	75.0	81.0	+5.9	+7.9%
	営業利益	6.7	6.0	▲0.6	▲10.1%
	(営業利益率)	(9.0%)	(7.5%)		
その他	売上高	32.9	34.4	+1.4	+4.4%
	営業利益	0.7	1.0	+0.2	+31.5%
	(営業利益率)	(2.4%)	(3.0%)		

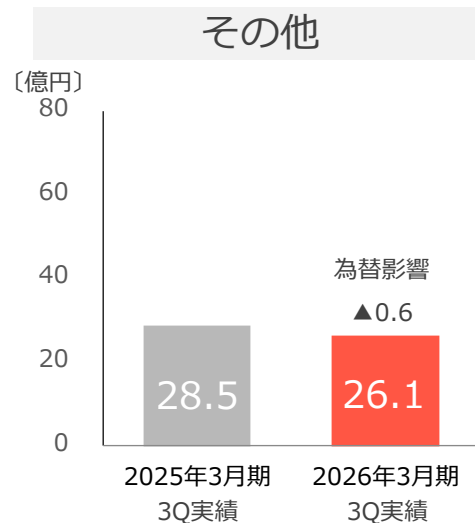
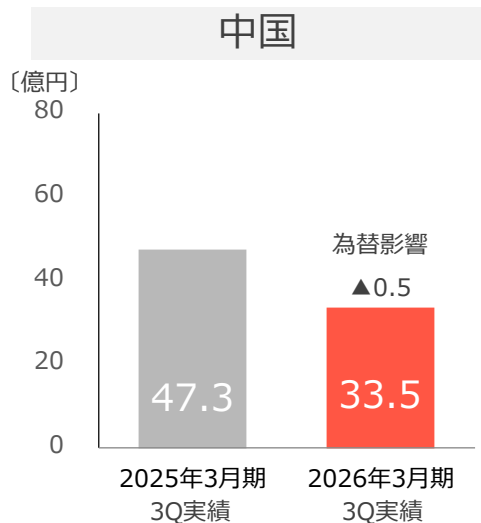
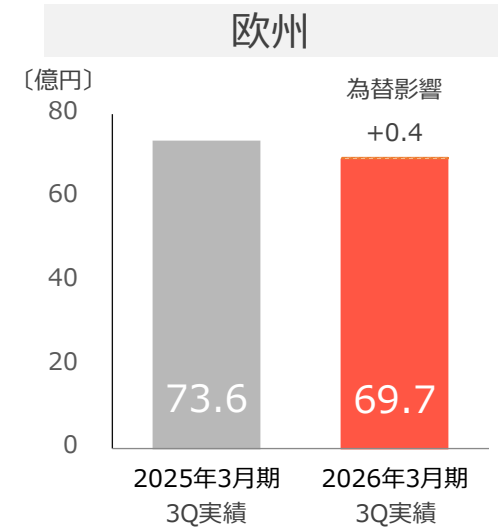
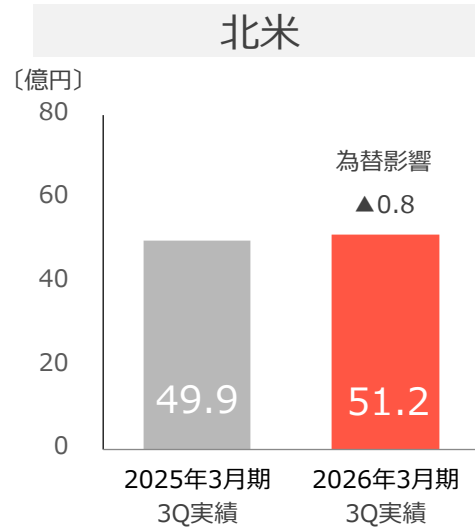
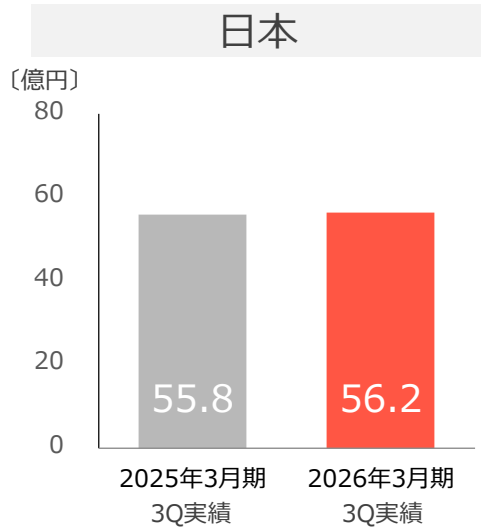
2026年3月期第3四半期 営業利益増減要因（楽器教育事業） **KAWAI**

材料費等高騰や減産の影響はあったが、価格適正化や原価改善などにより営業損失は改善

〔単位：億円〕



2026年3月期第3四半期
鍵盤樂器業績



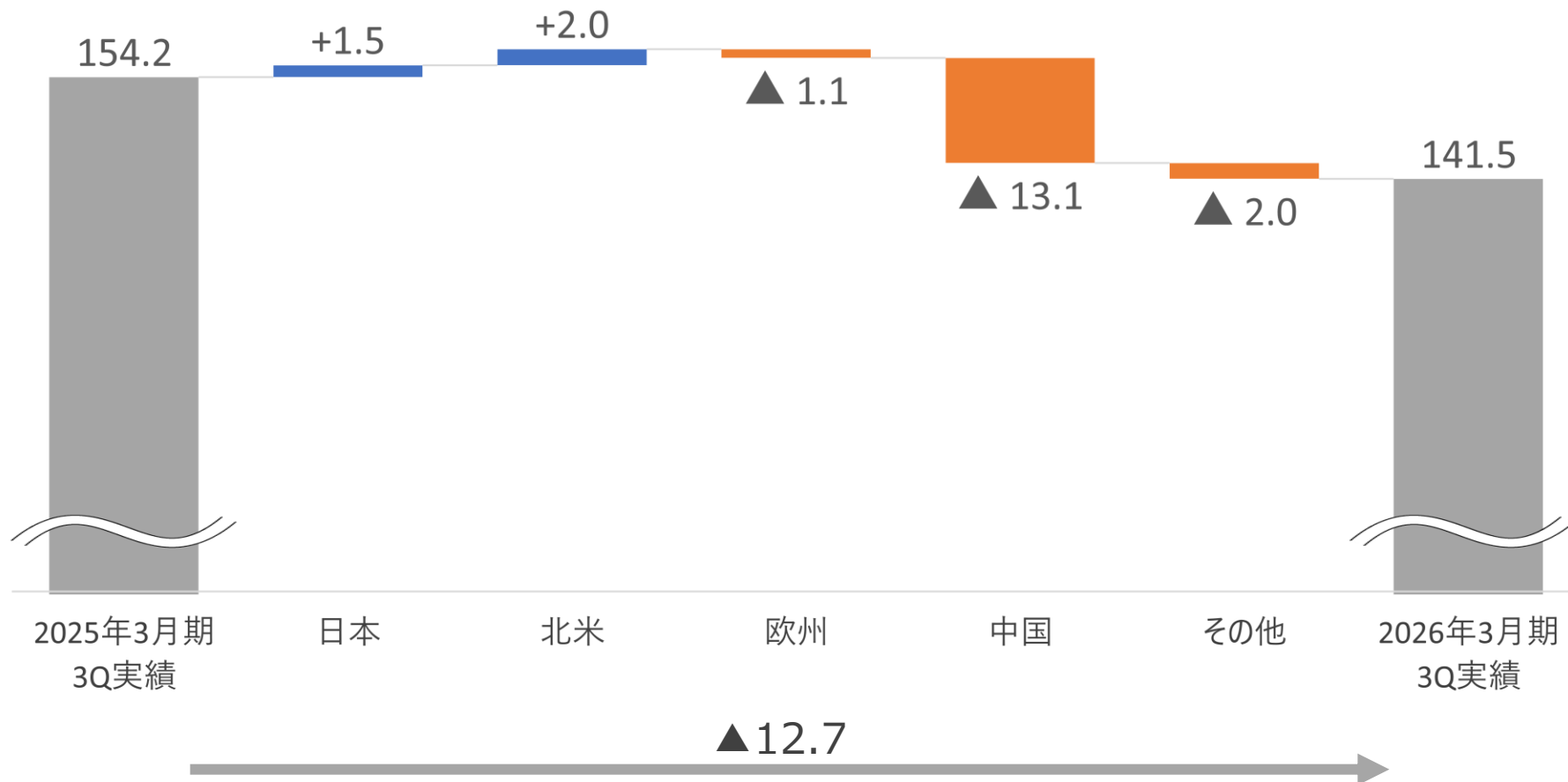
レート	2025年3月期 3Q実績	2026年3月期 3Q実績
\$	151.3	148.2
€	164.4	165.5

1円 円安変動での影響度【営業利益】	
\$	▲44百万円
€	+38百万円

2026年3月期第3四半期 ピアノ地域別売上高推移

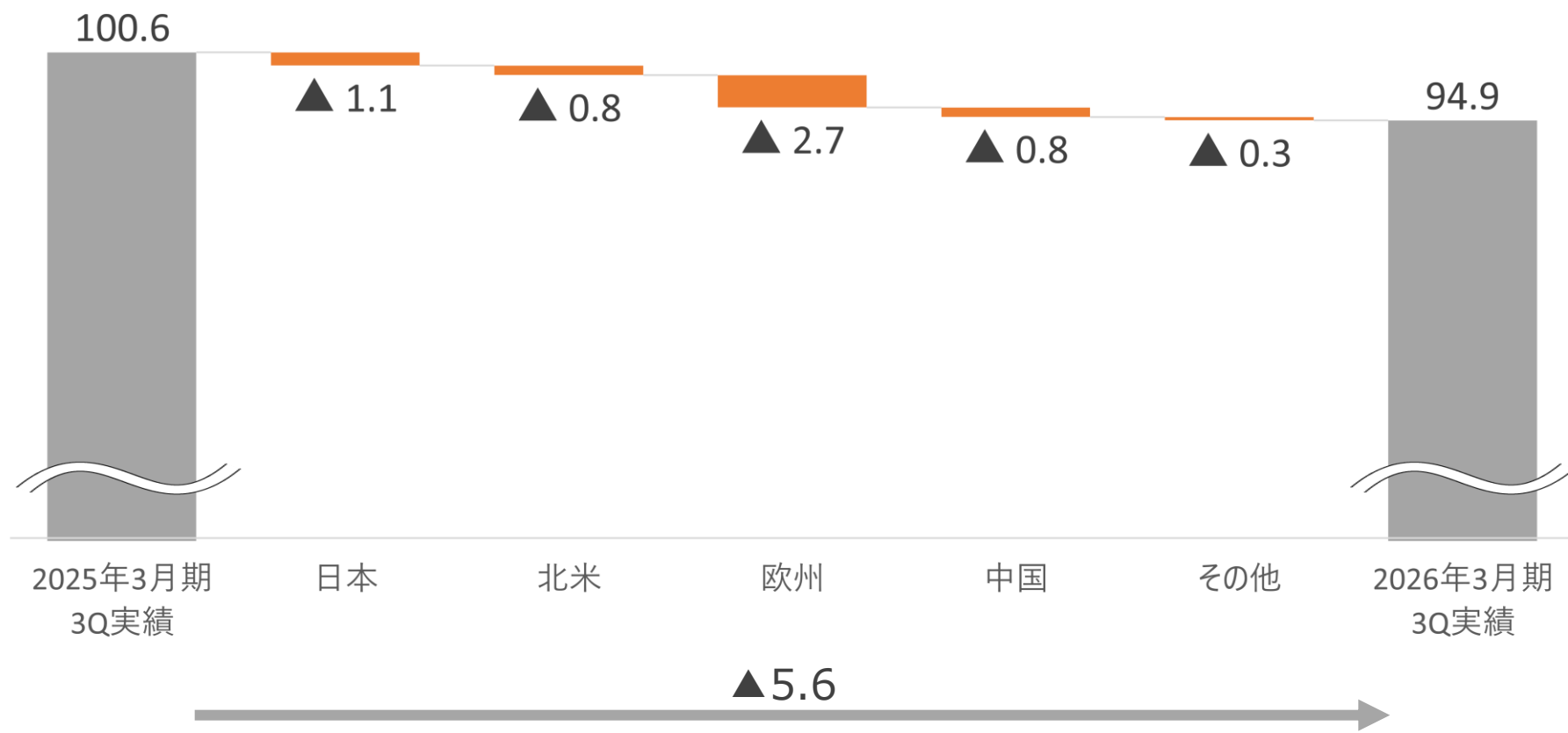
ピアノ販売は日本・北米では増加するも、中国での大幅減により全体では減少

〔単位：億円〕



電子ピアノ販売は全地域で減少

〔単位：億円〕



日本 前期比 +0.7%	<ul style="list-style-type: none">・アコースティックピアノはグランドピアノ「GXシリーズ」のリブランディング効果もあり販売が増加・一方で、第2四半期までは前年を上回っていた電子ピアノの販売は減少
北米 前期比 +2.6%	<ul style="list-style-type: none">・プロモーション強化の効果もあり、アコースティックピアノ、電子ピアノとも販売台数が増加
欧州 前期比 ▲5.2%	<ul style="list-style-type: none">・長期的なインフレ傾向により消費マインドが低下・アコースティックピアノ、電子ピアノともに販売が減少
中国 前期比 ▲29.1%	<ul style="list-style-type: none">・市場全体での鍵盤楽器在庫はまだ過大な状況であり、価格競争激化により販売減少・想定以上に市場回復が遅れている
その他 前期比 ▲8.6%	<ul style="list-style-type: none">・オーストラリアでは市況が回復せず販売減少・インドネシア、中南米で販売増加するも、台湾、韓国、中近東などで販売減少

2026年3月期
連結業績計画

通期の業績予想について売上高、営業利益、経常利益を下方修正、為替の影響などもあり、当期純利益は前回予想を据え置き

(単位：億円)

	2025年 3月期 通期実績	2026年3月期 通期見通し		前期差異	前期比	前回 予想 差異	前回 予想比
		前回予想	今回予想				
売上高	729.1	760.0	730.0	+0.9	+0.1%	▲30.0	▲3.9%
営業利益 (営業利益率)	3.1 (0.4%)	15.0 (2.0%)	5.0 (0.7%)	+1.9	+58.2%	▲10.0	▲66.7%
経常利益 (経常利益率)	4.7 (0.7%)	15.0 (2.0%)	12.0 (1.6%)	+7.3	+152.7%	▲3.0	▲20.0%
当期純利益 (当期純利益率)	4.0 (0.6%)	8.2 (1.1%)	8.2 (1.1%)	+4.2	+102.3%	±0.0	±0.0%
ROE	0.9%	1.8%	1.8%	—	—	—	—
為替レート							
US\$	151.6円	143.0円	149.7円	▲1.9円	▲1.3%	+6.7円	+4.7%
EURO	164.0円	161.0円	169.0円	+5.0円	+3.0%	+8.0円	+5.0%

※ 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益です。

前回予想に対し楽器販売の減少、素材加工事業の受注減少などのため、全セグメントの売上高、営業利益を下方修正

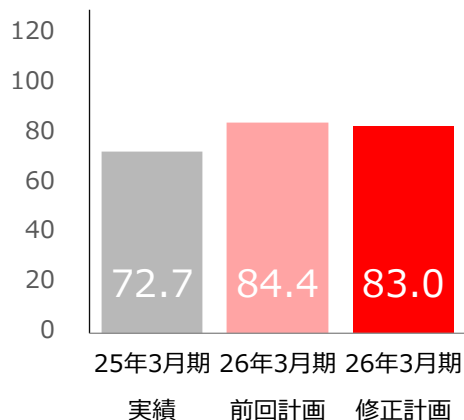
(単位：億円)

	2025年 3月期 通期実績	2026年3月期 通期見通し		前期 差異	前期比	前回 予想 差異	前回 予想比
		前回予想	今回予想				
楽器教育	売上高	583.7	590.0	▲3.7	▲0.6%	▲10.0	▲1.7
	営業利益	▲7.0	2.2	+2.7	-	▲6.5	-
	(営業利益率)	(▲1.2%)	(0.4%)	(▲0.7%)			
素材加工	売上高	97.2	118.0	+2.8	+2.8%	▲18.0	▲15.3%
	営業利益	8.5	10.0	▲0.5	▲6.9%	▲2.0	▲20.0%
	(営業利益率)	(8.8%)	(8.5%)	(8.0%)			
その他	売上高	48.0	52.0	+2.0	+4.0%	▲2.0	▲3.0%
	営業利益	2.3	3.5	▲0.3	▲15.4%	▲1.5	▲42.9%
	(営業利益率)	(4.9%)	(6.7%)	(4.0%)			

2026年3月期
鍵盤楽器販売計画

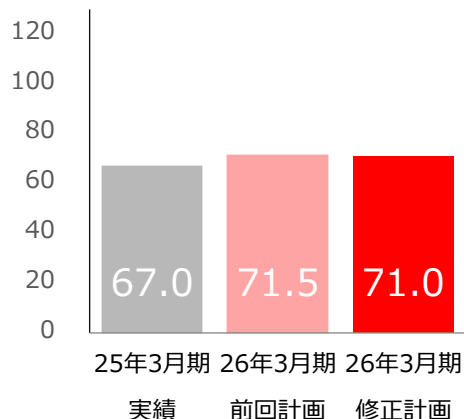
日本

〔億円〕



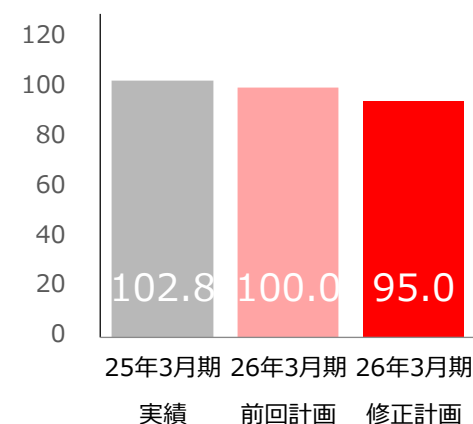
北米

〔億円〕



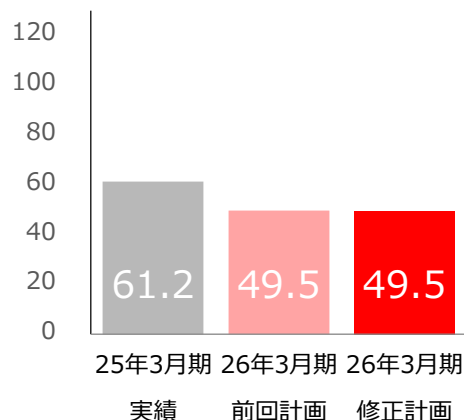
欧州

〔億円〕



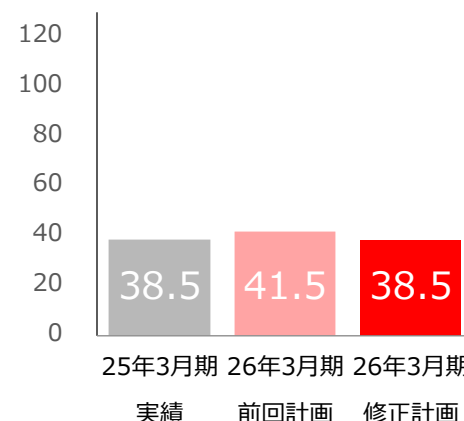
中国

〔億円〕



その他

〔億円〕

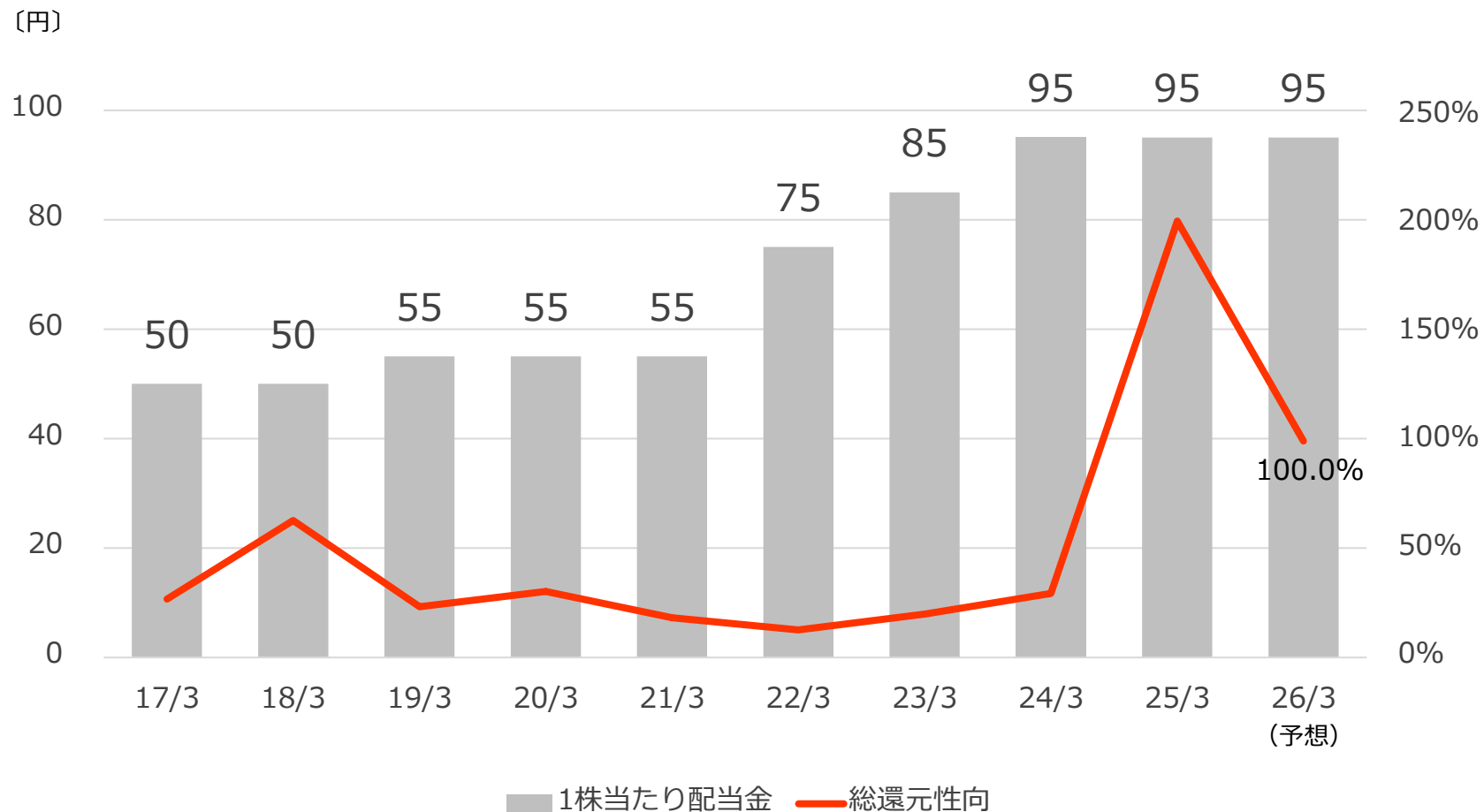


レート	2025年 3月期実績	2026年 3月期見通し
\$	151.6	149.7
€	164.0	169.0
1円 円安変動での影響度【営業利益】		
\$		▲44百万円
€		38百万円

※ 「前回計画」は2025年11月13日公表の計画

<p>共通</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ、ハイブリッドピアノ、電子ピアノそれぞれ新製品を発売
<p>日本 前期比 +14.1%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマーケティングの強化、国際ピアノコンクールでのプレゼンス向上とアーティストリレーション強化の取り組みを強化している ・グランドピアノGX、電子ピアノCNのリブランディングが奏功し、シェアが着実に向上、電子ピアノCXの投入により、さらなるシェア向上を図っている
<p>北米 前期比 +5.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当初予定より遅れはあったものの、2025年12月にデンバーに新たな直営店をオープン、セントルイス直営店も2026年1月にオープン。ディーラーの開拓も進め販売力強化を図っている
<p>欧州 前期比 ▲7.6%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランディング強化による認知度向上とデジタルマーケティングの強化、グローバルで影響力が高い国際ピアノコンクールでのプレゼンス向上、アーティストリレーションの強化に取り組んでいる ・商流の見直しにより利益率を改善
<p>中国 前期比 ▲19.2%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽大学向け販売の強化と、デジタルマーケティングの強化による趣味層への電子ピアノ拡販に取り組んでいる ・マスタークラスの開催などを通じ、ピアニストとの関係構築を進めている
<p>その他 前期比 ▲0.1%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランディング強化による認知度向上とデジタルマーケティングの強化に取り組んでいる ・オーストラリアでは2025年7月にブリスベン、同12月にアデレードに直営店を新設、積極的に販売網拡充を図っている

2026年3月期の1株当たり配当金は95円を予定、今後も累進配当と総還元性向50%以上を継続



2026年3月31日現在の株主様を対象に、
従来から実施の当社主催イベント（竜洋工場視察会・
コンサートなど）へのご招待に加え、

- ・ピアノ調律割引券
- ・カワイ音楽教室おためしレッスン券
- ・クオカード

を、新たに優待に追加いたします。

抽選制優待においては、抽選に落選された株主の
皆様に対しても、クオカードを贈呈することとし、
お申込まいただいた株主の皆様全員に優待を提供する
制度へと拡充いたしました。

詳しくは、弊社株主優待ホームページをご覧ください。
（詳細が決まり次第のご案内となります）

<https://www.kawai.co.jp/ir/yutai/>



KAWAI

本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、経済情勢、販売競争の激化、知的財産権に関するリスクなど、様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。